

**PROYA : 5年連続でESG報告書を発表、環境保護包装とグリーン製造でダブルブレイクスルーを果たす**

2025年4月、PROYAは《2024年度持続可能な発展報告書》を発表し、多くのグリーン成果を披露した。

持続可能な包装材料の比率は33.88%に達し、2021年より33.72%上昇した。主力製品であるULTIMATE RESTORING CREAM等5種類の製品は環境に優しい詰め替えを発売し、年間でプラスチック使用量を300トン、二酸化炭素当量排出量を938トン削減した。湖州工場は“国家レベルのグリーン工場”の認証を受け、クリーンエネルギーの使用割合は46.66%に達し、1製品当たりの温室効果ガス排出量は18.46%減少した。

PROYAはESGを役員報酬考課に組み入れ、持続可能な戦略的实施を保障した。その環境保護包装のグレードアップとCO2削減生産により、国産化粧品に原料から製造までの全てリンクの環境保護の為のテンプレートを提供した。将来的には詰め替え品の範囲を更に拡大し、サプライチェーンと共同でCO2削減を推進する必要がある。

**逸仙集団（パーフェクトダイアリー） : MSCI-ESGによる格付け連続Aランク、包装を86%削減**

2024年8月、逸仙集団はESG報告書を発表し、2年連続でMSCI-ESG格付けAランクを獲得した。パーフェクトダイアリーのクレンジングミルクはエコロジックな詰め替え用パックを採用してプラスチックを86%減らし、マイクロキッドファンデーションの詰め替えボトルによりプラスチックを91.6%減らした。

全ブランドの配送用段ボールはFSC森林認証を取得し、年間1350トンの持続可能な紙源を使用している。

逸仙は包装の軽量化でCO2削減の効果が現れ、環境に優しい詰め替えパックと詰め替えボトル設計はプラスチックへの依存を大幅に低減し、メイクアップコスメの軽量化の手本となった。将来的には詰め替えボトル回収のネットワークを構築することで、クローズドループの循環経済を更に進め、業界のベンチマークとしての地位を固めることができる。

**谷雨による“雨木共生2.0”空ボトル回収計画の開始**

2025年4月、国産ブランドの谷雨は愛回収と共同で、アップグレード版の空ボトル回収計画を発表し、消費者が空ボトルを届けて、環境保護の机と椅子と交換し田舎の小学校に寄付する。この計画はブロックチェーン技術を用いて空きボトルの流れを追跡し、回収したプラスチックボトルを処理して再生素材にし、木のキャップは文房具に加工する。

2025年5月現在、空ボトルは12万点を超え、CO2削減量は1800本の植樹に相当する。

谷雨は“環境保護公益+製品交換”モデルを通じてユーザーの参加度を高め、同時にリサイクル材料を教育資源に転化し、社会的価値とブランドイメージのW向上を実現した。将来的には、回収プラスチックを新製品の包装に使用し、クローズドループを形成するなど、“空ボトル再製造”技術を追求することができる。

**L'ORÉAL : 1億ユーロのサステナブル・イノベーション・プログラムを立ち上げ**

2025年6月、ロレアルは上海国際炭素中和博覧会で“持続可能なイノベーションプログラム”を発表し、5年以内に1億ユーロを投資して低CO2技術の研究開発を支援し、バイオベース原料、二酸化炭素回収・貯留などの分野に重点を置く計画である。

その“詰め替えコア”戦略はパリロレアル、SHU UEMURA等のブランドを網羅し、全てのプラスチックポンプヘッドの設計は包装回収率を90%に向上させた。

ロレアルは“技術投資+製品設計”の二輪駆動で、業界共通の難題を解決するだけでなく、サプライヤーのCO2削減評価（例えば、北アジアのCO2削減のパイオニア）を通じて産業チェーンの転換を迫る。将来的には、合成生物学技術による植物抽出物価格の引き下げ等、バイオベース原料の大規模化によるコストコントロールに注目する必要がある。